

船舶事故調査報告書

平成28年2月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年6月5日 18時35分ごろ（1件目の事故） 平成27年6月5日 18時36分ごろ（2件目の事故）
発生場所	阪神港神戸区ポートアイランド16号岸壁 （1件目の事故） 神戸第6防波堤灯台から真方位190° 1,620m付近 （概位 北緯34°39.4′ 東経135°14.5′） （2件目の事故） 神戸第6防波堤灯台から真方位194° 1,480m付近 （概位 北緯34°39.5′ 東経135°14.5′）
事故の概要	（1件目の事故） コンテナ船 <sup>ヴァーナス</sup> VENUS Cは、出港操船中、また、コンテナ船まやは、岸壁に係留中、両船が衝突した。 VENUS Cは、左舷船首部外板に凹損等を生じ、また、まやは、右舷船尾部外板に凹損等を生じた。 （2件目の事故） VENUS Cは、まやに衝突したのち、惰力で航行中、また、コンテナ船こうようは、岸壁に係留中、両船が衝突した。 VENUS Cは、左舷船首部外板に凹損等を生じ、また、こうようは、右舷側ハンドレールに曲損等を生じた。
事故調査の経過	平成27年6月5日、調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A コンテナ船 VENUS C（リベリア共和国籍）、9,949トン 8813609（IMO番号）、XIN HAI HUI SHIPPING CORPORATION B コンテナ船 まや、749トン 140885、株式会社イコーズ C コンテナ船 こうよう、499トン 140350、株式会社イコーズ
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍）、締約国資格受有者承認証 船長 （リベリア共和国発給）
負傷者	なし
損傷	A 左舷船首部外板に凹損等 B 右舷船尾部外板に凹損等 C 右舷側ハンドレールに曲損等

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 5、視界 良好  海象：潮汐 上げ潮の中央期  神戸市には、6月5日10時15分に強風注意報が発表され、本事故時も継続中であった。</p>
<p>事故の経過</p>	<p>(1件目の事故)  A船は、船長A、三等航海士及び甲板員の3人が在橋し、入り船左舷着けの状態から離岸し、港外に向け右回頭するために機関を微速力前進にかけ、右舵一杯としたが、離岸した頃から北東方からの強風を右舷側に受けるようになってA船の北側に着岸していたB船に接近し、A船の左舷船首がB船の右舷船尾に衝突した。  B船は、ポートアイランド16号岸壁南側に左舷着けして荷役を行っていた。  (2件目の事故)  A船は、B船と衝突したのち、右回頭できず、機関を停止したものの前進行きあしによって惰力で航行していたところ、引き続き強風を右舷側に受け、B船の北側岸壁に係留していたC船に接近し、A船の左舷船首がC船の右舷船尾に衝突した。  C船は、ポートアイランド16号岸壁北側に左舷着けしていた。</p>
<p>分析</p>	<p>(1件目の事故)  A船は、離岸したのち、港外に向ける際、強風を右舷側に受けて圧流されたことから、B船に接近したものと考えられる。  (2件目の事故)  A船は、B船と衝突したのち、惰力で航行していたところ、引き続き強風を右舷側に受けて圧流されたことから、C船に接近したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>(1件目の事故)  本事故は、A船が、離岸したのち、強風を右舷側に受けて圧流されたため、B船に衝突したことにより発生したものと考えられる。  (2件目の事故)  本事故は、A船が、B船と衝突したのち、引き続き強風を右舷側に受けて圧流されたため、C船に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。  ・強風下の出港操船では、船首尾にタグボートを使用することが望まれる。</p>